

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
自己発見	2単位 日本を知る	日本の伝統文化	渡邊 淳子	1年次	秋

授業のキーワード	幽玄、花、わび
授業の概要	伝統芸術の中から今年度は日本の典型的価値観や美意識を創り上げた能と茶の湯を取り上げ、能の特色、大成者世阿弥の目指したもの、茶の湯の特色、大成者千利休の目差したものを検討し、そこに通底する日本文化の特色を学びます。
期待される学習成果（目標）	1.日本の伝統文化を培った風土、環境の特色を理解することができる。 2.日本の伝統文化を培った精神的背景を理解することができる。 3.日本の伝統文化の特色を理解することができる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	導入	半年間の授業内容を概観し、授業の目的や受講上の留意点を説明します。	第9講	茶の湯とは	A V資料を用いて茶の湯とはいかなるものか把握し、日本における喫茶の文化の生成について概観します。
第2講	日本列島の風土的特色	島国である日本列島の風土的特色を、主としてヨーロッパの風土的特色と比較し、風土・環境が文化や精神性、価値観の生成にいかなる影響を与えてきたかを考察します。	第10講	侘び茶の湯の成立 その1	侘び茶がどのような経過のもとに成立したのか、侘び茶の湯の開祖村田珠光の改革の特色を見ていきます。
第3講	能とは	A V資料を用いて能を鑑賞し、能とはどのような芸能か、その特色を学びます。	第11講	侘び茶の湯の成立 その2	侘び茶の中興の祖といわれる武野紹の改革の特色を見ていきます。
第4講	能の成立	能という芸能がどのように生成されてきたかを学びます。	第12講	千利休のわび茶 その1	侘び茶の大成者千利休の改革の特色を見ていきます。
第5講	能という芸能の特色 その1	能舞台や複式夢幻能といわれる能の演出の特色を検討し、能の芸能としての本質的特色を学びます。	第13講	千利休の侘び茶 その2	千利休の目指した侘び茶を『南方録』や『山上宗二記』などの資料を手掛かりに見ていきます。
第6講	能の目差したものの その2	能の所作、面（おもて）の特色を検討し、能の目指した表現的特色について学びます。	第14講	侘び茶の目指したもの	侘び茶の精神性について、茶室の構造、もてなしなどを手掛かりに検討していきます。
第7講	能の目指したものの その3	能における”型”の修練の意味と、表現することを敢えて否定していくということの意味、その背景にある無常観の影響を学びます。	第15講	まとめ	能、侘び茶の湯を通して見られる日本人の精神性の特徴や伝統文化の特色についてまとめます。
第8講	能の目指したものの その4	世阿弥の芸能論を手掛かりに能を通して追及された芸術意識について検討します。	定期試験		ペーパーテストを行います。
評価方法		受講態度 10% テスト 90%			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
特に使用せず、資料を配布します。			○増田正造著『能の表現 その逆説の美学』（中公新書） ○桑田忠親著『茶道の歴史』（講談社学術文庫） ○筒井紘一著『茶の湯事始』（講談社学術文庫）		